

あらゆるビジネスシーンで活躍の会員の皆様をご紹介します。

ビジネス×インタビュー

株式会社高野自工

代表取締役

高野 忠正さん



钣金から架装へ

父が創業した当時は、自動車钣金修理が主な仕事でした。ところが、実際に自分でハンマーを握ってみると、作業は想像以上に難しく、思うような成果が上げられないなど、苦悩の日々が続きました。そんな時、あるお客様から車体架装の仕事をいただきました。架装とは、車を様々な用途で使えるよう必要な器具を設置するなどの改造を施すことです。例えば、消防車や宅配便のトラック、冷凍車などです。「どこもやってくれるところがないんだけど・・・」というお客様の声をうけ「他社で出来ないなら、うちでやってみよう」と挑戦しました。

架装の作業は、完成車体をイメージすることから始まります。その後、実際に部品を加工して作り上げていきます。車種により車体の形状が異なるので、部品との相性には苦労しましたが、完成したときの達成感には特別な

には専用の教習車がありません。そのためハンドルに特殊なレバーを取り付けたり、アクセルやブレーキのペダルをかさ上げするなど自家用車に改造を施し、教習車として使用します。改造費用はかかりますが、免許が取得できればその後の生活も大きく変わります。



FOR YOUR SMILE

みなさまの笑顔のために

ものがありました。この時、当社の目指す方向性がはっきりと見え、钣金修理から車体架装へと少しずつ事業をシフトしていきました。以来、積み重ねてきたノウハウと、独自の発想で特殊車両を作っており、今日では工場内は架装の車で埋まっています。

夢を叶える福祉車両

15年前より、福祉車両製作にも取り組んでいます。車椅子用リフトや回転シート、乗降用ステップの取り付けなど、オーダーメイドでお受けしております。大手自動車メーカーでも福祉車両の設定はありませんが、どれも画一的なものでお客様の細かい注文まで受けることができません。当社では、使う人にとって一番使いやすく乗り心地の良い車を作ることを目指しています。

また、身体に障がいをお持ちの方の運転免許取得のお手伝いもしています。自動車学校自分の力で遠方へ仕事や遊びに行くなど、今まで叶えられなかった夢を実現できます。当社で改造した車で免許を取得された方には大変喜んでいただいています。

お客様第一がモットー

トラックやバンの架装から福祉車両製作に至るまで、これまで時代のニーズに合わせた車を作ってきました。近年では自動車の安全・環境基準の国際調和を図るため、国内においても基準が厳しくなっています。法律に違反した車を作るわけにはいかないので、お客様のご要望にお応えできないこともあり、とても残念に思います。私たちができる範囲内で精一杯努力し、お客様に納得いただける車を作りたいと思っています。

お客様によって車種、目的、こだわりは様々です。いつでも「お客様第一」であることを忘れず、お客様の笑顔を思い描きながら仕事に取り組むことが大切だと思っています。

趣味

ゴルフ、自転車、読書

休日は友人に誘われてゴルフに出かけることが多いです。

今月の会社データ

株式会社高野自工

住所 岐阜市日置江1-177
電話 058-279-4081
事業内容 福祉車両製作・車両架装業
創業 昭和38年